

からはし通信

2022.1.1

No.31

発行 社会福祉法人 唐橋福祉会 編集兼発行人 理事長 下村 勉

胎動から23年半の「あいあい」 そして、昨年4月 20才(はたち)に。

- ◎ 1998年10月1日は、「大津あいあい保育園」の胎動が始まった日である。この日、石山のこの地に新しい民間保育園を建設することが創立者と市当局との協議で決定した。そして2年半にわたる開園準備を経て、世界が21世紀を迎えたばかりの2001年4月1日、「大津あいあい保育園」は、多くの人たちの期待と支援の中で誕生した。
- ◎「環境と食文化にこだわる保育」をテーマに掲げ、こどもたちに寄り添いながらこどもを主体とした理想の保育園づくりが進められた。しかし、2009年1月、「あいあい」の保育の総リーダーであった初代園長・下村京子が病魔に犯されて逝去した。園の運営は大きな困難に遭遇したが、職員の結束で乗り越えてきた。
- ◎ 2016年には、過熱する地域の保育ニーズに対処すべく、園舎を増築して定員を90名から120名に増やした。さらに、2019年4月からは「幼保一元化」への一歩前進をめざして、「保育所型認定こども園」に移行した。このため園児定員は135名に増えた。
- ◎ このような歴史を重ねながら、昨2021年4月1日に、「あいあい」は創立20周年を迎え、「はたち」となった。この機会に「創立20周年記念・感謝の集い」を開催して、これまでに思いを寄せていただいた多くの支援者、旧職員、卒園者などを招き、「はたち」に成長した「あいあい」の姿をご覧いただく予定であったが、前年から全世界を席卷しつつあった「コロナ禍」のために、中止となった。
- ◎「記念集会」に代わるものとして「20年の歩み(略年表)」の刊行作業を進めているが、正確な歴史を書き込むために、予想外の手数がかかり、完成は遅れている。
- ◎ この20年間に園を巣立った子どもたちは427名、その中にはすでに社会人として活躍している人たちも100名近い。これからも「あいあい」の心を胸に、毎年20数名が巣立っていく。(上記には、当園で卒園に至らず退園・転園したこどもや一時預かり児は含まないので、実際にはもっと多くの人が「あいあい」で育ったことになる。)
- ◎ ただ、当初定員90名で開園した当園は、今135名定員(実際の園児は現在127名)となり、保育に様々な困難が生じている。このため徐々に定員減するよう、市当局に要請している。大津市全体の保育の受け入れ可能数は保育ニーズを上回った。無理のない範囲で園児数を徐々に削減し、数年後には110名ほどの園児数にしたいと熱望している。

コロナと苦闘しながら進める保育 (ウラに続く)

- ◎「密を避ける」ために保育や保育行事に、様々な困難や支障が生じている。例えば、秋の「うらんど発表会」は、時間をクラスごとにずらして開催している。このため、保護者は自分の子どもの出演時間にだけ登園して、終われば子どもとともに降園する格好になる。0歳から6歳まで年齢ごとの発表を系統的に参観することができない。誠に残念な形で開催せざるを得ない。
- ◎ 毎年1月の「命の大切さを考える観劇の日」は一昨年まで、「劇団・風の子」などの小劇団を招いて開催してきた。しかし、コロナ禍の中、感染を避けるため昨年からは職員劇の上演に切り替えた。昨年度は「桃太郎」、今年度は「浦島太郎」を上演する。園の職員たちは腕によりをかけて練習に励んでいる。今年も子どもたちの大好評を受けるだろう。これは「コロナのおかげ」と言えるかもしれない。

秋の大工事で 園舎の外観が一新 エアコン更新で 省エネ効果が39%も

「20周年記念事業」の一つとして、昨年9月から12月にかけて、4050万円の大金を注いで「秋の大工事」が実施された。

- ◎【外壁等の全面改修工事】は、大屋根460㎡の全面塗り替えや300ヶ所に及ぶ壁の補修など多岐に渡った。工事中、保育には多少の支障もあったが、園舎全体がリニューアルされて、明るく鮮やかになった。開園当初のように美しくなったとの評判も。
- ◎【空調設備の全面更新工事】は、開園以来の稼働で老朽化したエアコン設備を全面更新するものであった。新しくなった空調設備は快調だ。地球温暖化で暑さ寒さが厳しくなる中だが、快適な保育環境が確保されている。しかも、工事後1年間のガス使用量は工事前1年間と比べて、なんと39%(19万5400円)も節減された。
- ◎ 当園の空調は「OM ソーラー」とガスエアコンの併用で行われている。自然エネルギーを活用しながら快適な生活環境を維持することは、SDG2 の理念に沿うものである。
- ◎ 開園当初に発電を開始した太陽光発電「さんさん君」は21年を経ても発電能力の減退はなく快調に発電を続けている。これまでの累積発電量は14万6千 kw アワー、売電収益は563万円に達した。このクリーン電気が二酸化炭素の排出を抑制した量は約55トンにもなる。
- ◎ また、2016年の増築の際、新園舎に設置した「たいよう君」も快調で、毎日の発電量をオモテの掲示板に表示する活動は、5歳児「さくら組」の子どもたちが引き続いて担当している。こちらの累積発電量はまもなく7万 kw アワーに達する。(二酸化炭素の抑制量は約26トンに)

6人の職員が出産へ

- ◎ 現在、大津あいあい保育園の職員6名が産休中・育休中、出産準備中である。当園では2001年の創立以来、初めの20年間に11人の職員が延べ13回、出産したが、複数の職員の同時進行はほとんどなかった。また、当園ではこれまでに100名を超える保護者が第2・3子を出産したので、園はこれを積極的に受け入れてきた。保護者と職員の子の子育て支援はともに大切である。育児と勤務を安心して続けられる職場環境を作ることが不可欠だ。

2020年の日本の出生数は90万人を割り、過去最少の87万人にまで落ち込んだ。かつてなく危険な勢いで少子化が進行している。本気の少子化対策が日本の喫緊の課題である。